



2021年12月13日

各位

会社名 株式会社かんなん丸
代表者名 代表取締役社長 佐藤 榮治
(コード番号 7585 東証 JASDAQ)
問合せ先 執行役員管理部長 宮永 一彦
(TEL 048-815-6699)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日スタンダード市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点(2021年6月30日)において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成いたしましたので、お知らせいたします。

記

○当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式時価総額及び流通株式比率については基準を充たしておりません。当社は後述の施策を実施することで流通株式時価総額・流通株式比率に関し、上場維持基準を充たす所存です。なお、計画期間については「中期経営計画」(2021年6月期～2023年6月期)の達成結果が株価に反映する2024年6月期といたします。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の状況 (移行基準日時点)	4,040人	10,857単位	6.04億円	24.9%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25%
計画書に記載の項目			○	○

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

○上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

当社は、2021年6月期まで4期連続で営業損失及び経常損失、及び5期連続で親会社株主に帰属する当期純損失を計上しており、かかる業績不振による株価低迷により流通株式時価総額基準への不適合という事態に至ったと認識しております。従いまして、まずは業績回復をはかり早期に復配することが何よりも重要であると考えております。

かかる業績不振に対して、当社は、2021年6月期有価証券報告書に記載の通り「店舗閉店および希望退職者の募集に関するお知らせ」を骨子とした事業再生に着手致しました。その結果、2021年3月末までに、保有店舗数の概ね半数にあたる28店舗の閉店を完了するとともに、事業規模の縮小に合わせて希望退職者を募り、連結ベースの従業員数（含むパート）は、2020年6月末の299名から2021年6月末の160名へと大幅に減少しました。加えて、テナント賃料の引き下げや役員報酬の減額およびその他一般経費の目標管理を徹底するなど、コスト削減策を実行して参りました。

今後さらに、下記のとおり具体的な施策を実行することによって、企業価値の向上を実現して参ります。

① 店舗改革施策の推進

QSCの徹底

当社の主力ブランドである「庄や」「日本海庄や」等は、コロナ禍で約2年にわたり休業せざるを得ない状況に置かれておりました。2021年10月より営業再開しておりますが、お客様第一の基本に立ち返り、お客様に提供する料理の品質を向上するための調理検定の実施や、接客レベルの向上及び店舗監査を通じた衛生管理の徹底を継続すると共に、お客様一人ひとりに合わせた「おもてなし」を提供することによって、一人でも多くのお客様にご来店頂ける店舗作りを図って参ります。

② ESGへの取組み

当社は、営業店舗において、廃油リサイクルの取り組みを実施しております。また、省エネ法定期報告に基づく事業者クラス分け評価の結果2017年から2020年の4期連続省エネ優良事業者の評価を得ております。今後とも継続して当該事業者であるべく努力して参ります。また、食材廃棄の対応につきましても廃棄基準を設定し、環境に配慮するよう実行して参ります。

③ IR活動の充実

当社はこれまでIR活動につきましては、積極的に取り組んで参りませんでした。今後当社ホームページを利用して、既に開示している決算資料・開示情報等の他に、IRスケジュール・株価情報・電子公告・月次売上状況の公表等情報開示の充実を図るよう実施・検討して参ります。

④ 新業態への移行

ア、新業態「Italian Kitchen VANSAN」の展開

2021年11月1日付け公表いたしました「株式会社VANSANとのフランチャイズ契約締結に関するお知らせ」のとおり、アルコール提供比率の低い新業態「Italian Kitchen VANSAN」の展開を図ることによって、既存の居酒屋業態における主な客層である40代～60代の男性から、新業態の20代～50代の女性・家族層へターゲット層を大きく転換し、客層・集客時間帯が幅広く、曜日変動が少なく安定市場であるイタリアン業態に参入して参ります。

イ、自社ブランド「じんべえ太郎」のブラッシュアップ

コロナ禍によって変化した生活スタイルに合わせたテイクアウト事業や、デリバリー事業への取組みの推進を図ると共に、コロナ禍においても他業態と比較して、業績が堅調である自社ブランド「大衆すし酒場じんべえ太郎」を店舗オペレーションの改善や、非接触型のオーダーシステムの導入等を図ることにより積極的にブラッシュアップを進め、収益力の強化を目指して参ります。

また、流通株式比率基準の不適合につきましては、2021年12月末時点の株主状況により、見直し後なお不適合の場合において、2022年2月までに自己株式の消却を実施するものとします。

さらに追加措置として、株式の売出しにつきまして検討しておりますが、その方法、時期、株数等につきましては未定であり、今後十分に状況を勘案し判断して参ります。

当社は、上記施策を実行し、既存ブランドである「庄や」「日本海庄や」の活性化につなげると共に、新FC事業である「Italian Kitchen VANSAN」への展開、及び、自社ブランド「大衆すし酒場じんべえ太郎」のブラッシュアップを推進し収益改善を確かなものとし、更なる企業価値の向上に取組み、流通株式時価総額基準及び流通株式比率基準への適合を図ってまいります。

以上